

平成 29 年度事業報告

- 1 「将来構想～今後 10 年の展望～」の重点項目である「競技力の向上、スポーツの普及、組織力強化、財政基盤強化、県立スポーツ施設整備の要望」について事業を推進した。また、「新潟県スポーツ推進プラン」の実践に向けて、協力・連携を図った。
- 2 本県において 9 年振りに開催された第 73 回国民体育大会冬季大会スキー競技会において、競技得点 135 点と例年に比し得点を重ね、男女総合成績第 3 位を獲得することができた。
また、平昌冬季オリンピックに本県から 5 名の選手が参加し、そのうち強化活動の支援を行った小野塚選手、富田選手がそれぞれ入賞したことで、一定の効果が得られた。
- 3 2020 東京オリンピック・パラリンピックで本県選手が活躍できるよう、競技団体の推薦に基づく選手の指定と活動費の補助を行うとともに、新潟県社会人スポーツ推進協議会会員企業等のご協力とご理解を得て優秀選手の雇用を図ることができた。
- 4 スポーツを通じて次代を担う青少年の健全育成を図るため、スポーツ少年団の育成・充実に取り組み、「第 55 回全国スポーツ少年大会」を開催した。また、地域全体が主体的に連携・協働してスポーツを推進する仕組みづくりをより充実するため、新潟県広域スポーツセンター事業を中心とした総合型地域スポーツクラブの充実とスポーツの振興による地域活性化等を推進した。
- 5 「新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター」の指定管理者として、適切、かつ効果的な施設管理を行うとともに、本県の競技水準の向上と県民の健康づくり活動を支援するための事業を実施した。また、魅力ある施設として県民に認知されるよう、施設の「賑わい」や「活性化」に向けた事業を実施した

A 公益事業

I 競技力向上対策事業の推進 251,804,196 円

本県の競技水準の維持・向上を図るため、県、加盟団体を始めとする関係機関・団体との緊密な連携・協力を目的とした諸会議を開催するとともに、各種強化事業を実施した。

1 競技水準向上対策運營業務 27,396,503 円

本県競技水準向上対策の方針について競技団体等関係者との共通理解を図るため諸会議を開催するとともに、本県からオリンピック選手の輩出を目指し、選手の指定を行うためオリンピック選手育成検討委員会を開催した。

また、全国・ブロック大会等に役職員を派遣し各県の情報収集に努めた。

会議名	期日	会場
国体実施競技団体理事長 ・強化総括責任者会議 第1回	平成29年 6月24日	NSG 学生総合プラザ STEP
第2回	平成29年 11月25日	新潟テルサ
第3回	平成30年 3月17日	新潟テルサ
第72回国民体育大会 監督会議・結団式	平成29年 9月 2日	NSG 学生総合プラザ STEP
オリンピック選手 育成検討委員会	平成29年 6月15日	NSG 学生総合プラザ STEP

2 競技水準向上対策事業 186,576,479 円

(1) 新潟スーパージュニア養成事業

ア 新潟ジュニア育成事業 23,427,000 円

将来の国体での少年種別の競技力の向上と国内トップ選手の育成を図るため、ジュニア選手（小学生・中学生・高校生）を対象として計画的・継続的な強化合宿を実施した。（39 競技）

イ 新潟県高校スポーツ強化指定校事業 17,289,000 円

少年種別の競技力向上と国内トップ選手の育成を図るため、高校生等の育成拠点となる高等学校をスポーツ強化指定校として指定し、強化活動等を支援した。（26 競技・30 校）

ウ 育成指導者配置事業 43,970,479 円

競技力の向上を図るため、全国トップレベルの競技実績を有する育成指導者を市町村体育協会等に配置し、国体選手やジュニア選手に対して指導を行った。(8 競技 12 名)

(2) 強化事業

ア 国体強化事業 73,994,000 円

競技力の向上を図るため、国体選手及び次期候補選手の強化活動を支援した。(41 競技)

イ 強化スタッフ支援事業 5,544,000 円

国体選手や次期候補選手のスポーツ障害の予防・コンディションの調整・技術指導等を行うため、スポーツドクターやトレーナー、コーチ等を活動現場や国体へ派遣した。(36 競技)

ウ 社会人・企業スポーツ指定強化事業 2,836,000 円

社会人スポーツの振興を図るため、新潟県社会人スポーツ推進協議会においてその方策を協議するとともに、社会人・団体のクラブが行う強化活動を支援した。(企業スポーツ強化支援助成 9 企業・クラブチーム強化支援助成 6 クラブ)

会議名	期日	会場
総 会	平成 29 年 5 月 9 日	ホテル日航新潟
第 1 回幹事会	平成 29 年 5 月 9 日	ホテル日航新潟
第 2 回幹事会	平成 29 年 9 月 21 日	アートホテル新潟駅前
第 3 回幹事会	平成 30 年 3 月 20 日	デンカビッグスワンスタジアム

エ 新潟県社会人スポーツ推進協議会の運営

県内における社会人スポーツの推進と優秀な選手等の雇用を図るため、新潟県社会人スポーツ推進協議会として独自に会員等から協賛金を募集し、アスリートフォーラムや社会人スポーツ活性化セミナーを開催したほか、ホームページを作成するなど、新たな事業展開を図った。

事業名	期日	会場	備考
にいがたアスリートフォーラム 2017	平成 29 年 11 月 7 日	ANA クラウン プラザホテル	企業・アスリート等 66 名
社会人スポーツ活性化セミナー	平成 29 年 11 月 27 日	長岡市さいわいプラザ	企業等 28 名
	平成 30 年 1 月 19 日	上越市市民プラザ	企業等 63 名

オ トップコーチ等招へい事業 6,000,000 円

オリンピックや国内で活躍する選手の育成と指導者の資質向上を図るため、国内外のトップコーチを招へいし、指導を受けた。
(4 競技)

カ スキー国体特別強化事業 11,084,000 円

本県で開催される、「第 73 回国民体育大会冬季大会スキー競技会」の男女総合優勝を目指し、国内外での強化練習会を実施した。

(3) 特殊競技用具等整備補助事業 2,432,000 円

競技力の向上を図るため、競技団体において特に必要となる競技用具の整備に関し、3 団体へ購入費の一部を補助した。

3 オリンピックアスリート夢チャレンジ事業 36,331,411 円

(1) オリンピックアスリート活動支援事業 25,000,000 円

強化指定選手等の国内外の遠征等、強化活動に対して支援を行った。
(11 競技 37 名)

(2) 社会人スポーツ雇用支援事業 5,000,000 円

優秀な社会人選手や指導者が本県を拠点に活動できるよう、雇用を受け入れた企業に対して支援を行った。(4 団体 4 名)

(3) コーディネーター配置事業 6,331,411 円

優秀な選手や指導者が本県に定着し、地域社会で活躍できる仕組みづくりなどを行うためコーディネーターを配置した。

4 地域におけるトップアスリート育成プロジェクト支援事業

1,500,000 円

本県から東京オリンピックに出場・活躍できる選手を輩出するため、市町村体育(スポーツ)協会が主体的に取り組む事業に対して支援を行った。
(3 団体)

II 国民体育大会関連事業・業務の推進 12,639,017 円

国民体育大会への選手等の参加・派遣に関する業務を推進した。

< 第 72 回国民体育大会成績 >

大会名	男女総合成績		女子総合成績	
	得点	順位	得点	順位
冬季大会	146.0 点	7 位	44.0 点	16 位
本大会	727.0 点	37 位	475.0 点	31 位
合計	873.0 点	32 位	519.5 点	26 位
前回合計	1,054.0 点	17 位	610.5 点	19 位

< 第 73 回国民体育大会成績 >

大会名	男女総合成績		女子総合成績	
	得点	順位	得点	順位
冬季大会	165.0 点	3 位	50.0 点	13 位

1 国民体育大会及び北信越国民体育大会への本県選手団派遣

各季大会の新潟県選手団を編成し、下記大会に選手団を派遣した。

また、国体本部役員としてスポーツドクターを派遣し、現地における選手の競技活動を医科学面から支援するとともに、国体参加者の傷害事故を補償する制度の加入に努めた。

大会名	会期	開催地	派遣人数
第 72 回国体本大会	平成 29 年 9 月 30 日 ～10 月 10 日	愛媛県	545 名
第 73 回国体冬季大会 スケート競技会・アイスホッケー競技会	平成 30 年 1 月 28 日 ～2 月 1 日	山梨県 神奈川県	39 名
第 73 回国体冬季大会 スキー競技会	平成 30 年 2 月 25 日 ～28 日	新潟県	118 名
第 73 回国体冬季大会 アイスホッケー競技会 北信越・東海ブロック予選会	平成 29 年 12 月 8 日～10 日	長野県	28 名

第73回国体冬季大会 フィギュア競技会予選会	平成29年 12月2日～3日	千葉県	4名
第38回北信越国民体育大会	平成29年 8月25日～27日	福井県	799名
合計			1,533名

2 国体ユニフォーム購入補助事業

国体県選手団が着用する選手団ユニフォームの購入費用を補助した。

3 アンチ・ドーピング教育・啓発活動の推進

国体選手・指導者に対し、アンチ・ドーピングの教育・啓発活動の一環としてドーピングコントロール研修会を実施したほか、啓発リーフレットを作成し各競技団体、県内高等学校やスポーツドクター協会等に配布した。

事業名	期日	会場
アンチ・ドーピング 教育啓発研修会	平成29年6月24日	NSG 学生総合プラザ STEP

Ⅲ 新潟スポーツムーブメントの推進

1 新潟スポーツムーブメント推進事業 7,332,627円

新潟県のスポーツ文化の発展を促すため、スポーツ情報の提供、表彰、スポーツ団体への支援を行った。また、(公財)日本体育施設協会の体育施設運営士養成講習会等を開催し、スポーツ活動環境の充実を図った。

講習会名	期日	会場	参加者数
公認体育施設運営士 養成講習会	平成29年9月21日 ～22日	新潟県健康づくり・スポーツ 医科学センター	24名
スポーツ救急手当講習会	平成29年9月27日		1名

(1) スポーツ情報の収集発信の推進

本会ホームページを運営するとともに、本会の諸活動や加盟団体等の情報発信と公益法人としての情報公開に努めた。

(2) スポーツ功労者等の表彰

会議名	期日	会場
表彰選考委員会	平成29年10月30日	デンカビッグスワンスタジアム

表彰名	氏名 (敬称略)	所属 / 推薦団体	表彰式 期日/会場
スポーツ栄光賞	平野 歩夢	木下グループ	平成 30 年 3 月 20 日 デンカビッグ スワンスタジ アム
スポーツ功労 者賞 5 名	渡辺 孝衛 阿部 孚 湊谷 茂彦 高橋喜平太 (故) 廣川 俊男	新潟県ライフル射撃協会 新潟県バドミントン協会 (一財) 新潟県バスケットボール協会 (公財) 新潟県スキー連盟 (一財) 新潟県水泳連盟	<日時> 平成 29 年 11 月 25 日
優秀指導者賞 7 名	松井 重徳 井口 智浩 龍崎 天明 柴田 学 大島 則光 大宮 幸一 齋藤 利彦	(一財) 新潟県陸上競技協会 (一財) 新潟県陸上競技協会 新潟県卓球連盟 (一財) 新潟県水泳連盟 (公財) 新潟県スキー連盟 (公財) 新潟県スキー連盟 (公財) 新潟県スキー連盟	<会場> 新潟県健康 づくり・スポ ーツ医科学 センター
公認スポーツ 指導者賞 5 名	泉田 俊幸 渡邊 正幸 今井 浩二 滝沢 一博 栃倉 由紀	(一財) 新潟県陸上競技協会 新潟県山岳協会 新潟県山岳協会 (一財) 新潟県水泳連盟 (公財) 長岡市スポーツ協会	
優秀競技者賞	105 名	9 団体	
奨励競技者賞	6 名	新潟県スポーツチャンバラ協会	

(3) スポーツ振興支援事業の実施

スポーツ団体が実施するスポーツ事業の開催を支援することで、本県におけるスポーツの普及・振興を図るため 22 団体に補助した。

2 日本スポーツマスターズへの参加

生涯スポーツのより一層の推進を目的に、スポーツ愛好者の中で、競技志向の高いシニア世代を対象とした総合スポーツ大会として兵庫県において開催された「日本スポーツマスターズ 2017 大会」(実施競技 13 競技)への参加業務等を推進した。

大会名	会期	開催地	参加者数
日本スポーツマスターズ 2017 大会	平成 29 年 9 月 15 日 ～19 日 (中心会期)	兵庫県	147 名 (10 競技)

IV スポーツ指導者の養成等 2,568,466 円

1 公認スポーツ指導者講習会の開催

(公財) 日本体育協会公認指導員養成講習会専門科目を開催した。

なお、共通科目は (公財) 日本体育協会が定める通信教育により行われた。

開催競技	期日	会場	参加者数
水泳	平成 29 年 6 月 11 日 ～10 月 29 日	柏崎市中央地区 コミュニティセ ンター 他 4 会場	24 名
ゲートボール	平成 29 年 7 月 13 日 ～10 月 4 日	見附市ゲートボ ール場	14 名
ハンドボール	平成 29 年 11 月 25 日 ～12 月 24 日	柏崎市民プラザ 柏崎工業高校体 育館	11 名
軟式野球	平成 29 年 11 月 18 日～26 日	HARD OFF ECO スタジアム新潟	23 名

2 スポーツ指導者研修会の開催

(公財) 日本体育協会公認スポーツ指導者の更なる資質向上と活動促進及び指導者の連帯感を深め、組織的活用を図るため開催した。

研修会名	期日	会場	参加者数
新潟県スポーツ指導者研修会	平成 30 年 2 月 18 日	新潟ユニゾンプラザ	307 名

V 広域スポーツセンターの運営等 16,021,255 円

「新潟県スポーツ推進プラン」(平成 28 年 3 月策定)に基づき、県民一人一人が日常生活の中にスポーツを取り入れる社会の実現を図るため、新潟県が本会内に設置した事業推進拠点としての「新潟県広域スポーツセンター」の事業並びに新潟県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会事務局、新潟県体育施設協会事務局、各種調査・統計資料作成などの関連業務を実施した。

(1) 総合型地域スポーツクラブの育成・支援

総合型地域スポーツクラブの創設・育成支援及び総合型クラブの質的向上と連携強化を図るため、クラブアドバイザー（スポーツ振興くじ助成事業）を1名配置し、総合型クラブへの指導・助言を行うとともに、各種研修会等を開催し、クラブの資質向上と連携強化を推進した。また、クラブの安定化等に向け新潟県が策定した「新潟県総合型地域スポーツクラブの指針」の運用を図るとともに、「総合型地域スポーツクラブ協働展開事業（連携・トライアル事業）」を実施し、多分野とクラブとの連携・協働を促進した。

ア 研修会等の開催

事業名	期日	会場	参加者数
(第1回) スポーツ団体が行 うツアー企画等の 注意点	平成29年12月14日	新潟県健康づ くり・スポーツ 医科学センタ ー	24名
(第2回) 人の心を動かす 「色」の使い方を学 ぶ	平成30年2月7日	デンカビッグ スワンスタジ アム	21名
(第3回) プレゼンテーショ ンセミナー	平成30年2月20日	新潟県健康づ くり・スポーツ 医科学センタ ー	30名
新潟県総合型地域 スポーツクラブ連 絡協議会研修会	平成29年8月 29日～30日	村上市神林総 合体育館他	76名
総合型地域スポー ツクラブ実務担当 者研修会	平成29年5月23日	新潟県健康づ くり・スポーツ 医科学センタ ー	52名

イ 総合型地域スポーツクラブ協働展開事業（連携・トライアル事業）

「NPO法人ユースポ！」（湯沢町）ほか8団体（総合型クラブ）が、自然・観光、障害者スポーツ・福祉、高齢者、子どもの運動、地域資（特色ある施設等）などの分野で、地元行政を始め、観光協会、自然保護団体、社会福祉協議会、障害者スポーツ協会、学校、商店、青年会議所、大学、スポーツ推進委員、スポーツ少年団、農園などと協働関係を構築しながら事業を展開した。

(2) スポーツと地域活性化の好循環創出事業の実施

東京オリンピック・パラリンピックの開催によるスポーツ気運の高まりを背景に、スポーツの力と地域資源を活用し、誰もが健康で活力に満ち、住みたい・訪れたいと思える魅力ある地域づくりに取り組む活動を支援する「スポーツと地域活性化の好循環創出事業（平成28年度～30年度）」を指定団体とともに実施した。

指定団体	活動概要
NPO 法人 希楽々（村上市）	総合型クラブと企業（店舗）との協働による地域課題解決
認定 NPO 法人新発田市総合型地域スポーツクラブ（新発田市）	総合型クラブによる障害者の運動機会等の創出
一般社団法人 三条市体育協会（三条市）	カヌーによる地域の活性化
一般社団法人 オールアルビレックス（新潟市）	企業等の社員向け健康運動プログラム実施
ブルボンウォーターポロクラブ柏崎（柏崎市）	小学校（低学年）への水泳・水球の普及教育活動

(3) スポーツ情報の収集発信

新潟県広域スポーツセンターホームページ「にいがた Sports.net」を運営し、様々なスポーツ情報の収集・発信を行った。また、「新潟県生涯スポーツの現状」などの統計資料を作成・公開した。

(4) その他関連業務の実施

国（スポーツ庁）の「体力・運動能力調査」「総合型地域スポーツクラブ活動状況調査」等を始め、新潟県体育施設協会事務局業務（総会・研修会開催、調査・名簿作成等）、ラジオ体操の普及などの事務を実施した。

VI 高等学校体育連盟助成金 454,101 円

（公財）日本スポーツ協会国民スポーツ推進キャンペーンとして実施される「推進費付き自動販売機設置事業」の趣旨に賛同し、県内高等学校に設置した自動販売機の販売手数料を高等学校体育連盟へ助成金として交付した。

VII ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト拠点県合宿事業

7,884,155 円

将来有望なアスリートの発掘・育成を行い、中央競技団体の育成・強化コースへ導くことを目的として（公財）日本体育協会から水泳（飛込）の拠点県として指定を受け、全国から選抜された5名により合宿を実施した。

(1) 実行委員会

事業名	期日	会場	参加者数
第1回実行委員会	平成29年6月28日	デンカビッグスワンスタジアム	12名
第2回実行委員会	平成29年10月27日	新潟県健康づくり・スポーツ医学センター	12名
第3回実行委員会	平成30年3月14日	デンカビッグスワンスタジアム	10名

(2) 合宿

事業名	期日	会場	参加者数
第1回合宿	平成29年11月17日 ～11月19日	ダイエープロビスフェニックスプール	11名
第2回合宿	平成29年12月15日 ～12月17日	ダイエープロビスフェニックスプール	12名
第3回合宿	平成29年12月26日 ～12月28日	ダイエープロビスフェニックスプール	11名
第4回合宿	平成30年2月23日 ～2月25日	ダイエープロビスフェニックスプール	11名
第5回合宿	平成30年3月2日 ～3月4日	ダイエープロビスフェニックスプール	13名
第6回合宿	平成30年3月27日 ～3月31日	セントラルスポーツ宮城 G21 (宮城県総合運動公園)	10名

Ⅷ スポーツ少年団の育成 27,192,940 円

スポーツを通じて心身ともに健全な青少年を育成するため、日本スポーツ少年団等との連携により「第55回全国スポーツ少年大会」の開催を始めとする諸事業を実施するとともに、2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けたスポーツ少年団としての取り組みを実施した。また、広くジュニアスポーツの振興を図るため、関係団体との連携を促進するとともに、「いじめ見逃しゼロ県民運動」にも取り組んだ。

1 新潟県スポーツ少年団の運営及びスポーツ少年団登録の促進

9,542,969 円

(1) 新潟県スポーツ少年団の運営

ア 登録数の拡大促進

市町村スポーツ少年団の設置促進及び登録者（団員・指導者）の維持・増加を目指し、スポーツ少年団活動の充実を図った。

① 平成 29 年度市町村設置状況

28 市町村（未設置：出雲崎町・刈羽村）

② 登録状況

区分	団数・人数	前年度比
単位団	643 団	△4 団
指導者及び役職員	3,638 名	△96 名
団員 (男女内訳)	12,795 名 男子 8,869 名 女子 3,926 名	102 名 41 名 61 名

イ 広報・情報提供等の推進

「にいがたスポ少ニュースレター」（2 万部）を発行するなど、広報と情報提供を推進した。

ウ 顕彰の実施

表彰名	表彰数等
新潟県スポーツ少年団顕彰 単位団 指導者	3 団 21 名
日本スポーツ少年団顕彰 市町村 指導者	新発田市、妙高市 3 名

エ 諸会議の開催

新潟県スポーツ少年団の関連会議（総会、正・副本部長会議、表彰選考委員会、11 専門部会）を開催し、事務・事業の円滑な実施を図るとともに、日本スポーツ少年団の諸会議及び北信越ブロックスポーツ少年団連絡協議会理事会に参加した。

会議名	期日	会場
総会		
第 1 回	平成 29 年 6 月 2 日	NSG 学生総合プラザ STEP
第 2 回	平成 30 年 3 月 9 日	

2 事業の実施 17,649,971 円

(1) 広域（地域）活動の支援 250,000 円

上越、中越及び下越の地区連絡協議会が実施する事業に助成し、各地区におけるスポーツ少年団活動の充実を図った。

(2) 第 37 回新潟県スポーツ少年団総合体育大会の開催 2,652,939 円

開催競技	会期	開催地	参加者数
剣道、卓球、バドミントン、柔道、空手道、軟式野球、サッカー、バレーボール、少林寺拳法、ミニバスケットボール	平成 29 年 4 月 30 日 ～11 月 26 日	新潟市、長岡市、上越市 十日町市 胎内市	3,085 名

(3) 北信越ブロック事業の開催又は参加 770,313 円

大会名	会期	開催地	参加者数
第 48 回北信越ブロックスポーツ少年大会	平成 29 年 9 月 16 日 ～18 日	石川県	指導者 1 名 団員 12 名
第 37 回北信越ブロックスポーツ少年団競技別交流大会 卓球	平成 29 年 8 月 5 日 ～ 6 日	長野県	指導者 1 名 団員 8 名
バレーボール	平成 29 年 11 月 11 日～12 日		

第 39 回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会北信越大会	平成 29 年 7 月 8 日 ～ 9 日	みどりと森の運動公園野球場 他	2 チーム
------------------------------	--------------------------	-----------------	-------

(4) 第 55 回全国スポーツ少年大会の開催 11,339,105 円

スポーツ少年団活動をより一層促進し、地域における活動の活性化を図るため、公益財団法人日本体育協会日本スポーツ少年団との共催により、『今 そのトキ!! 妙高でひろげる“WA”の翼』の大会スローガンのもと「第 55 回全国スポーツ少年大会」を開催した。

大会名	会期	開催地	参加者数
第 55 回全国スポーツ少年大会	平成 29 年 7 月 28 日 ～31 日	国立妙高青少年自然の家、妙高市文化ホール、妙高ふれあいパーク、新潟県妙高高原赤倉シャイツェ他	40 道府県 指導者 40 名 団員 206 名

(5) 全国スポーツ少年団交流大会等への派遣 263,109 円

大会名	会期	開催地	参加者数
第 55 回全国スポーツ少年大会	平成 29 年 7 月 28 日 ～31 日	国立妙高青少年自然の家他	指導者 1 名 団員 11 名
第 40 回全国スポーツ少年団剣道交流大会	平成 30 年 3 月 25 日 ～27 日	東京都	小学生団体 指導者 1 名 団員 5 名 個人戦 中学生男女 各 1 名
第 15 回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会	平成 30 年 3 月 25 日 ～28 日	群馬県	男子・女子 各 1 チーム 指導者 5 名 団員 19 名

(6) 国際交流活動の実施 1,036,874 円

事業名	期間	派遣（受入）先	人数
第 44 回日独スポーツ少年団 北信越事前研修会	平成 29 年 6 月 17 日 ～18 日	アオーレ長岡 他	指導者 1 名 団員 7 名
派遣	平成 29 年 7 月 31 日 ～8 月 17 日	ドイツ	指導者 1 名
受入	平成 29 年 7 月 28 日 ～8 月 1 日	上越市	指導者 1 名 団員 11 名 団長団 3 名

(7) 指導者の養成と資質向上の促進 1,121,963 円

事業名	期日	会場	参加者数
スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会	平成 29 年 10 月 14 日 ～平成 30 年 2 月 11 日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター他 3 会場	142 名
新潟県スポーツ少年団指導者研修会	平成 29 年 9 月 3 日	村上市生涯学習推進センター	70 名
北信越ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会	平成 29 年 11 月 11 日	富山県	4 名
認定育成員研修会	平成 29 年 10 月 28 日～11 月 19 日	東京都	7 名
スポーツ少年団指導者全国研究大会	平成 29 年 6 月 18 日	東京都	3 名
ジュニアスポーツの育成と安全・安心フォーラム	平成 29 年 12 月 10 日	アートホテル新潟駅前	17 名
幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム講習会	平成 29 年 7 月 ～11 月	三条市下田体育館 上越市総合体育館 埼玉県	普及講習会 74 名 普及促進研修会 26 名 講師講習会 2 名

(8) リーダーの育成 215,668 円

事業名	期日	会場	参加者数
新潟県スポーツ少年団リーダー研修会	平成 29 年 4 月 22 日	長岡市ながおか市民センター	15 名
全国スポーツ少年団リーダー連絡会	平成 29 年 9 月 30 日 ～10 月 1 日	東京都	2 名
北信越ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会	平成 29 年 10 月 28 日 ～29 日	福井県	9 名

(9) 「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催に向けた取組み

日本スポーツ少年団と連携して、フェアプレーの推進や全国一斉活動（清掃・美化活動等の社会貢献活動）などを推進した。

IX 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センターの管理運営

182,980,077 円

指定管理者として本施設を適切有効に管理運営するとともに、本県の競技水準の向上と県民の健康づくり活動の支援を行った。

1 事業の推進

(1) 競技水準向上事業 70,574,148 円

ア 体力測定・動作分析

本県アスリートの競技水準の向上とスポーツ愛好者の体力向上のため、体力測定・動作分析による科学的な測定と分析及びその結果に基づく科学的なトレーニング指導による支援を行った。

内容	人数
体力測定	949 名
動作分析	240 名
競技力向上相談	1,729 名

イ スポーツ医科学サポート補助事業

国体候補選手等が、本施設で行うメディカルチェックや体力測定、動作分析等の費用を補助した。

補助事業利用者 1,168 名

(2) 診療所の運営 39,929,563 円

通常の外来診療業務の他、体力測定・健康づくり事業の利用者の医学検査・データ分析により、スポーツ障害の整形外科疾患、生活習慣病等の内科疾患に対し予防・治療を行った。さらに、その収集データにより関連機関と連携し、臨床的側面を含めた調査研究を行った。

内 容		利用者数
内 科	体力測定医学検査	712 名
	健康づくり医学検査	213 名
	小計	925 名
整形外科外来診療		2,302 名
リハビリテーション外来診療		1,765 名
自主事業内科外来診療		304 名
合 計		5,296 名

(3) 健康づくり実践指導の実施 22,910,299 円

県民の健康の保持・増進と生活習慣病の予防・改善に寄与する健康づくりのモデルコース（医師の健康管理下による生活習慣しっかり改善コース・個別プログラムサービス）の実施を通して、「健康づくりの実践的な指導者の養成」と「県内各地へ講師を派遣」し「県内各地の啓発活動」を行った。

内 容		参加者数
生活習慣しっかり改善コース		724 名
親子健康づくりコース		82 名
健康づくり実践指導者の育成		735 名
個別プログラムサービス		871 名
健康づくりのための運動指導者研修会	室内運動指導者研修会	51 名
	水中運動指導者研修会	24 名
合 計		2,487 名

(4) 施設一般利用 38,037,276 円

利用者ニーズの対応としてフリーパス券の複数種類提供と各種事業及び他の公共施設・スタジアムとの連携を図り、長期的、継続的な利用を促進し、本施設の認知度を高めた。

内容	利用者数
フィットネスホール	31,753 名
研修室	10,498 名
トキめき広場	5,846 名
合計	48,097 名

(5) スポーツと健康づくりの情報発信 4,971,066 円

事業の紹介や成果をホームページやマスメディアの広報媒体及び刊行物等で紹介した。さらに来館者に対して「情報コーナー」を「トキめき広場」と改称し、機能充実を図るとともに、広く健康・体力づくりの情報を発信した。

刊行物
年報・業績集、パンフレット、各種事業のスケジュール等詳細チラシ

(6) 県民講座の開催 1,266,310 円

健康づくりと競技スポーツに関する公開講座及びや運動教室の講師として指導を行い、県民の知識・技術の取得を図るとともに、健康の保持・増進の啓発を図った。また、本施設の賑わい創出を図るイベントをスタジアム等と連携し開催した。

講座名	参加者数
一般講座	351 名
専門講座	212 名
にぎわいイベント	1,171 名
合計	1,734 名

B 収益事業 5,291,415 円

民間企業等へ研修室等の貸出しを行った。

利用者数 4,926 名

C 法人事業

1 県体育協会の運営 219,050,642 円

スポーツの普及・振興、競技力向上等の推進にあたり、関連団体の業務や事務局業務を担いながら新潟県の総合的なスポーツ振興に取り組んだ。

<事務局を担っている関連団体>

- ・新潟県広域スポーツセンター
- ・新潟県スポーツ少年団
- ・新潟県社会人スポーツ推進協議会
- ・公益財団法人スポーツ安全協会新潟県支部
- ・新潟県体育施設協会
- ・新潟県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会

2 諸会議の開催

(1) 評議員会及び理事会

会議名	期日	会場
定時評議員会	平成 29 年 6 月 21 日	アートホテル新潟駅前
臨時評議員会	平成 30 年 2 月 15 日 平成 30 年 3 月 27 日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター デンカビッグスワンスタジアム
理事会 第 1 回	平成 29 年 4 月 5 日	デンカビッグスワンスタジアム
第 2 回	平成 29 年 6 月 7 日	NSG 学生総合プラザSTEP
第 3 回	平成 29 年 6 月 21 日	アートホテル新潟駅前
第 4 回	平成 29 年 12 月 13 日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
第 5 回	平成 30 年 3 月 15 日	デンカビッグスワンスタジアム

(2) 専門委員会

会議名	期日	会場
スポーツ医科学委員会	平成 30 年 1 月 9 日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター

3 加盟団体等との連携強化

加盟団体、県や市町村のスポーツ行政等その他関係機関との連携強化及び親睦交流を深めるため、諸事業を開催した。

事業名	期日	会場
市町村体育協会連絡会議	平成 29 年 4 月 26 日	NSG 学生総合プラザSTEP
ゴルフ大会	平成 29 年 7 月 25 日 ※悪天候により中止	ヨネックスカントリークラブ
講演会 新年会	平成 30 年 1 月 20 日	ANAクラウンプラザホテル新潟

